

一般質問通告書

5年 11月 21日

弥富市議会議長 殿

弥富市議会議員

江崎貴大

下記のとおり質問したいので通告します。

記

書画カメラ	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する <input type="checkbox"/> 使用しない（どちらかにレ点を付ける） ※通告書提出後は、議長に許可を得ること（口頭可）。
-------	---

件名	多様な人材の社会参加促進に向けて
質問項目及び要旨 (具体的内容)	(1) 弥富市役所の法定雇用率について ①弥富市役所の法定雇用率および雇用すべき人数は。 ②報告されている障がい者雇用状況は。 ③今後の法定雇用率とそれに伴う人数の変化は。 ④障がい者雇用促進のための出前講座の内容は。参加した市長の思い、感想、今後の考えは。 ⑤近年の障がい者雇用に向けての対応は。 ⑥障がい者の採用に関し、障がい区分ごとに試験等での配慮がなされているのか。 ⑦障がい者への仕事の切り出し、仕事内容の工夫は。 ⑧なかぼつなどの障がい者支援を担当する方や障がい者自身などと市役所の仕事についてアドバイスをもらう機会はあるのか。 ⑨障がい者雇用について他自治体と話し合う機会はあるのか。 ⑩障がい者雇用について特別支援学校等と話し合う機会はあるのか。 ⑪特別支援学校では、一般企業も含めて職場体験をしている。実際に採用には至っていないが、体験の受け入れだけしている企業もある。弥富市役所でも受け入れてはどうか。 ⑫障がい者がトライアルする機会はないのか。

	<p>(2) 甲賀市への視察から重層的支援体制整備事業について</p> <p>①甲賀市では全庁的な連携のため「我が事丸ごと」共生社会推進の会議体が名前を変えて庁内体制を作っている。本市ではそのような会議体があるのか。</p> <p>②甲賀市では既存の拠点で相談を投げかけてもらい、その後精査し支援会議につなげている。本市の相談の受け止め方の現状と今後は。</p> <p>③甲賀市では住民のこういうことがやりたいというアイデアにより、取り組みに結び付き行政が応援するという形ができています。本市での現状と今後は。</p> <p>④重層的支援は所管課以外の職員が協働していくことから、はじめの体制づくりの上でトップダウンが有効とされている。重層的支援について市長の考えは。</p>
答 弁 者	市長、担当部課長

件 名	市有財産の利活用は
質問項目及び要旨 (具体的内容)	<p>(1) 市有財産の利活用について</p> <p>①利活用候補地に挙がる基準は。</p> <p>②市有財産の賃貸や売却の流れは。</p> <p>③旧歴史民俗資料館跡地の活用方法決定の経緯は。</p> <p>④十四山総合福祉センター南の行政財産利活用の経緯は。</p> <p>⑤市有財産の利活用に関し、公表や公募はなされているのか。</p> <p>⑥貸与や売却を希望する人が現れたらどのような対応になるのか。</p> <p>⑦十四山中学校跡地の利活用の流れは。</p> <p>⑧合併小学校跡地の利活用の審議機関、構成人員、決定プロセスは。</p>
答 弁 者	